

「大和市商業戦略計画（素案）」に関する市民意見公募手続の報告

（１）実施方法の概要

- １ 募集期間 令和７年１月６日（月）～令和７年２月５日（水）
- ２ 受付方法 直接持参・郵送、ファックス、電子申請（氏名、住所、意見を明記）
- ３ 周知方法 広報やまと（１/１号）、市役所ホームページ（１/６～２/５）
- ４ 資 料 「大和市商業戦略計画（素案）」
- ５ 閲覧方法 文書配架
（市役所１階情報公開コーナー、市役所１階産業活性課、保健福祉センター、各学習センター、各分室、各連絡所、各コミュニティセンター）
市ホームページ

（２）意見提出者数・意見の件数

４人・７件

（３）寄せられた意見と市の考え方

意見の概要	市の考え方
令和５年１２月市議会一般質問において私から提案した、モデル地区を指定した重点的な取り組み、地域の特性や生産性を生かした取り組み、まちづくり会社等の事業スキーム導入等の商業振興施策に対し、意欲ある個店、個人事業主への支援を除いてはほとんど素案に反映されていない。商業戦略計画は実効性を担保し、活性化がイメージ出来る内容となることを期待する。	計画の方向性の２「滞在したい空間づくり」では地縁組織とのつながりやエリアを意識した施策を位置付けており、そこではモデル地区を設定しての施策展開も選択肢の一つであり、地域特性等を生かした取り組みは、大和市のファンを生み出そうとする方向性の３「大和市のファンづくり」に通じるものであると考えます。 まさに計画の実効性を高めるための施策として、意欲ある個人事業主等への支援に取り組みますが、他のご提案についても今後の取り組みの参考とさせていただきます。
元気で魅力ある個店を創出することは大賛成だが、例えば若手・女性などの経営者支援など、もう少し話題となるような内容を期待する。 伴走型コンサルは非常に重要で、将来に含めを持たせた表現を要望する。その他、まちづくり会社の設立、地産地消により農家の野菜利用によるメニュー開発促進など。	計画の方向性の１「商店会を中心とし魅力ある個店にも対象を広げた支援」で触れる、元気で魅力ある個店への支援には、若手や女性等の経営者支援も含まれます。また、農家の野菜利用等については、方向性の３「大和市のファンづくり」における商品・サービスの開発・周知の中で実現可能性のあることと考えます。 今後、施策を具体化し展開していく中で、ご提案の内容も参考にさせていただきます。
大和市は、歴史的経緯、交通インフラの影響により、南北で違う色彩を有している。北部住人や、他の市町村の住人を、いかに南部の商業エリアに導くか、という視点が大きなテーマである。 タイ、スリランカ、韓国といった地域のお祭りや、商品を打ち出し、多国籍性をもっと生かせないか。多国籍料理の飲食店の方々と議論が重要である。	ご指摘にもある、多くの国の方々が住むという大和市の特徴を商業振興に生かせる機会があれば、市も積極的に取り組んでいきたいと考えます。 いただいたご意見を参考に、素案の１４ページ中の「エリアがにぎわうイベントとの連携」の中で、スポーツや音楽のみならず、多文化共生に係るイベントなども視野に入れることとし、部内連携課に国際・市民共生課の記述を加えます。

意見の概要	市の考え方
昭和39年（1964年）に計画された福田相模原線を区画整理（または用地買収）と併用し早急に開通させ、道路沿いに商業施設等を誘致すれば、人・物・金の物流が良くなり、高座渋谷地域は大和市南の拠点都市として繁栄すると考える。	現在、都市計画道路における、整備の優先順位付けを含む「大和市道路整備計画」の策定を進めており、今後、本市の持続的発展につながる道路整備を計画的に実施していくものと考えております。福田相模原線開通の際には、商業の活性化につながる施策を検討していきます。
東京の渋谷（表）、大和の渋谷（裏）、コインの表裏の関係として提携し（姉妹都市）、東京の渋谷が発展・繁栄・拡大し続ければ、大和の渋谷も歴史を一層充実させ相互に補完するなど、大和の渋谷の存在価値を高め、共存共栄をめざす。	高座渋谷地域に限らず各地域の存在価値を高めることは重要だと考えております。 東京都渋谷区とはこれまで大きな関わりを持っては来ませんでしたが、今後の市の施策展開を検討する中で参考とさせていただきます。
桜ヶ丘地区は中原街道（丸子中山茅ヶ崎線）・滝山街道・国道467号・金比羅神社・福田神社・上和田左馬神社・福田開拓九人衆・鬼婆民話があり、歴史を生かすイベントができる。このためには、桜ヶ丘踏切の渋滞を解消し、人・物流を良くし、集客を図るために拡張工事の丸子中山茅ヶ崎線を早急に完成させる。	県道丸子中山茅ヶ崎線の事業認可区間につきましては、用地取得に伴う交渉に時間を要しているものの、早期の供用を目指して精力的に取り組んでいくと神奈川県より回答をいただいております。 市といたしましては、今後も引き続き県や地元の促進協議会等と連携を図り、一日でも早い事業完成に向け、協力していきたいと考えております。丸子中山茅ヶ崎線の供用開始の際には、商業振興の活性化につながる施策を検討していきたいと考えます。
歴史的な経緯からも外国籍の方が多いため、外国文化を紹介できる異国街をつくり二条通りの活性化を図る。大型店舗ではできない・味わえない魅力のある楽しい街を作らなければならない。 その他、奨励品・推奨品のJAと合同によるギフト化、外国料理食べ歩きマップの作成、厚木飛行場の紹介施設創設、アーモンドの植樹、大和市又は4市による商工業や農林水産業をマッチングする総合施設創設などで活性化を図る。	商店街の活性化策については、それぞれの商店街を中心に検討いただくことにはなりますが、ご指摘のとおり多くの国の方々が住むという大和市の特徴を商業振興に生かせそうな場面では市も積極的に提案、支援等をしていきたいと考えます。 いただいたご意見を参考に、素案の14ページ中の「エリアがにぎわうイベントとの連携」の中で、スポーツや音楽のみならず、多文化共生に係るイベントなども視野に入れることとし、部内連携課に国際・市民共生課の記述を加えます。 その他、ご提案いただいた具体的な案については、今後の市の施策展開を検討する中で参考とさせていただきます。